

近代④「明治時代中期」

自由民権運動と憲法制定  7分

1. 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

1881年、政府が10年後に国会を開くことを約束すると、あ板垣退助や大隈重信らは政党を結成した。ヨーロッパに派遣された伊藤博文は、いドイツの憲法を学び、帰国後にう憲法草案を作成した。1885年にはえ内閣制度がつくられた。1889年にお大日本帝国憲法が公布され、立憲政治が始まった。翌年には衆議院議員選挙が行われ、第1回帝国議会が開かれた。

(1) 下線あに関して述べた文として最も適当なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア すべての政党が政府の組織となった。
- イ 政府は、すべての政党に助成金を支給した。
- ウ 政府は、自由民権運動の活動を取り締まった。
- エ 政府は、すべての政党の活動を禁止した。

[1]

(2) 大日本帝国憲法が、下線いを参考にしてつくられたのはなぜか。下線いの特色にふれて答えなさい。

[2]

(3) 下線うについて、次の問いに答えなさい。

- ① 憲法は、天皇の求めによって重要な問題を審議する機関によって審議された。この機関は何か。

[3]

- ② 憲法草案は、民間でも多くつくられた。そのうち、現在の東京都あきる野市で発見され、地元の青年たちによってまとめられたものは何と呼ばれているか。

[4]

(4) 下線えについて、はじめてできた内閣で伊藤博文がついた職を次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア ^{だいじょうだいじん}太政大臣 イ 左大臣 ウ 右大臣 エ 内閣総理大臣

[5]

次ページにつづく 

(5) 下線おについて、次の問いに答えなさい。

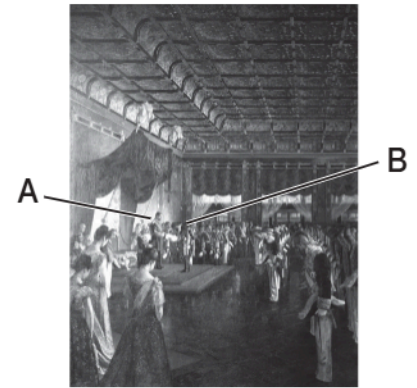
- ① この憲法では、国民の権利は「()の権利」として制限つきで認められた。
()にあてはまる最も適切な語句を漢字2字で答えなさい。

[6]

- ② 右の図は、憲法発布の式典のようすを表している。
図中のA・Bにあてはまる人物の組み合わせとして最も適切なものを次から1つ選び、記号で答えなさい。

- ア A = 明治天皇, B = 黒田清隆
イ A = 明治天皇, B = 伊藤博文
ウ A = 伊藤博文, B = 明治天皇
エ A = 伊藤博文, B = 黒田清隆

[7]



提供：聖徳記念絵画館

2. 次の問いに答えなさい。

- (1) 明治初期の税制の改革に対して不満が高まり、各地で農民が一揆をおこした。これに対して、1877年に政府は地租を引き下げ、地価の何%としたか。

[8]

- (2) 明治政府が国会を開くと約束したことを受け、国会開設に向けて政党がつくられた。そのうち、大隈重信を党首として1882年に結成された政党は何か。

[9]